月　日 名前　　／100点

【小4】国語 文章問題　物語文 1

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

四月、わたしのクラスに転校生がやって来た。黒板の前に立ったその子は、「はやしみのりです。」と小さな声で言うと、すぐに下を向いてしまった。

休み時間になっても、みのりちゃんは自分の席にすわったままだった。わたしは声をかけようか、ずっとまよっていた。何を話せばいいのか分からなかったからだ。

次の日の朝、げた箱の前で、みのりちゃんと二人きりになった。わたしは思い切って言った。

「おはよう、みのりちゃん。」

みのりちゃんは、びっくりしたように顔を上げた。

「わたしの名前、もう覚えてくれたの。」

「うん。きのう、ちゃんと聞いてたもん。」

すると、みのりちゃんの顔が、ぱっと明るくなった。

「前の学校では、名前をまちがえられてばかりだったの。『みのり』じゃなくて『みのる』って。」

みのりちゃんは、そう言ってくすくすわらった。わたしもつられてわらった。

教室までのろう下を、わたしたちはならんで歩いた。何を話そうかとまよっていたのが、うそのようだった。名前をよぶ、たったそれだけのことで、こんなにきょりがちぢまるなんて、わたしは知らなかった。

その日の休み時間、みのりちゃんは、自分からわたしの席に来てくれた。

（この問題のための書き下ろし）

問一　転校生のみのりちゃんは、名前を言ったあと、どうしましたか。「～しまった」につづくように、本文から十字までで書きぬきましょう。

問二　わたしが、休み時間にみのりちゃんに声をかけられなかったのはなぜですか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　みのりちゃんが、こわそうだったから。
イ　何を話せばいいのか分からなかったから。
ウ　先生に、話しかけてはいけないと言われていたから。

問三　「みのりちゃんの顔が、ぱっと明るくなった」とありますが、それはなぜですか。四十字までで書きましょう。

問四　最後の一文から分かるみのりちゃんの様子として、いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　名前をまちがえられて、まだおこっている。
イ　まだはずかしくて、自分の席から動けない。
ウ　わたしともっと話したくなり、自分から近づいてきた。